

開整吧

煩死人了  
快去吧！



真是位  
坦率到  
麻煩的人

逃命也很狼狽  
難以想象是  
幕府的重臣啊

叔父大人  
從前就不顧形象

本心暴露無遺  
總是另有所圖

和這個  
花瓶小鬼  
打好關係  
佔點便宜吧

這種不戴  
武士面具的  
正直人格：

再者我很閒  
就陪他玩吧

我非常喜歡

執著於權力  
貪生怕死  
但在面上  
總是  
毫不遮掩





畢竟是  
他的親叔父

重逢之喜  
自然更甚平時



呵呵  
兄長好像  
很開心



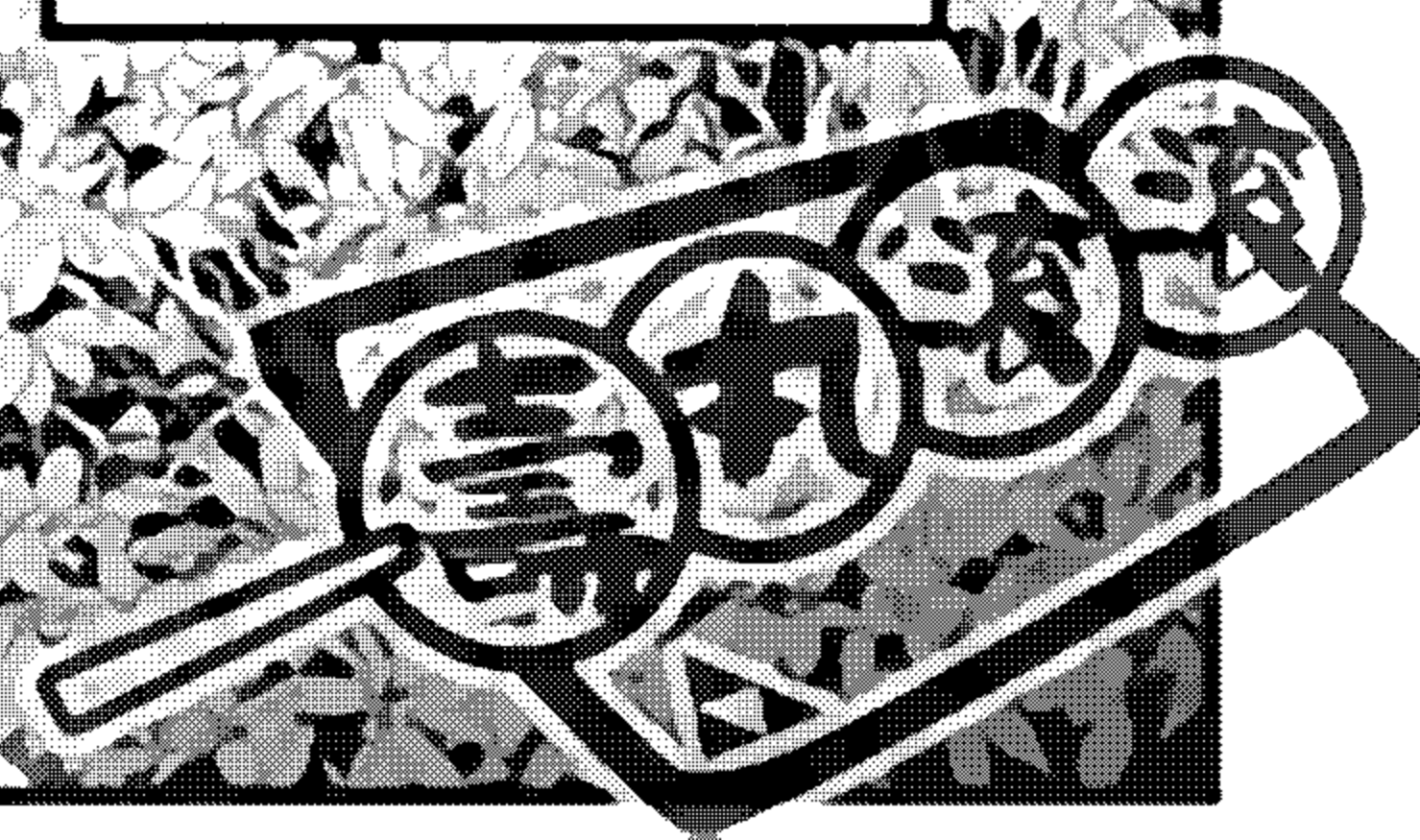
.....



嗯——

看來登場人物  
都各就各位

大戰也  
迫在眉睫了





接下來  
該怎麼辦呢



大戰也就意味著  
會遭遇比以往  
更大的危險

少爺雖是個  
看不厭的傢伙

但我有豁出性命  
服從他的  
理由嗎？



和少爺不同

我既沒有  
復仇對象  
也不需要  
拯救族人



趁此機會甩手走人  
也不失爲一條出路



算了  
下次再  
考慮吧



巫女們  
差不多要  
更衣了

去試試新鑽的  
偷窺孔……





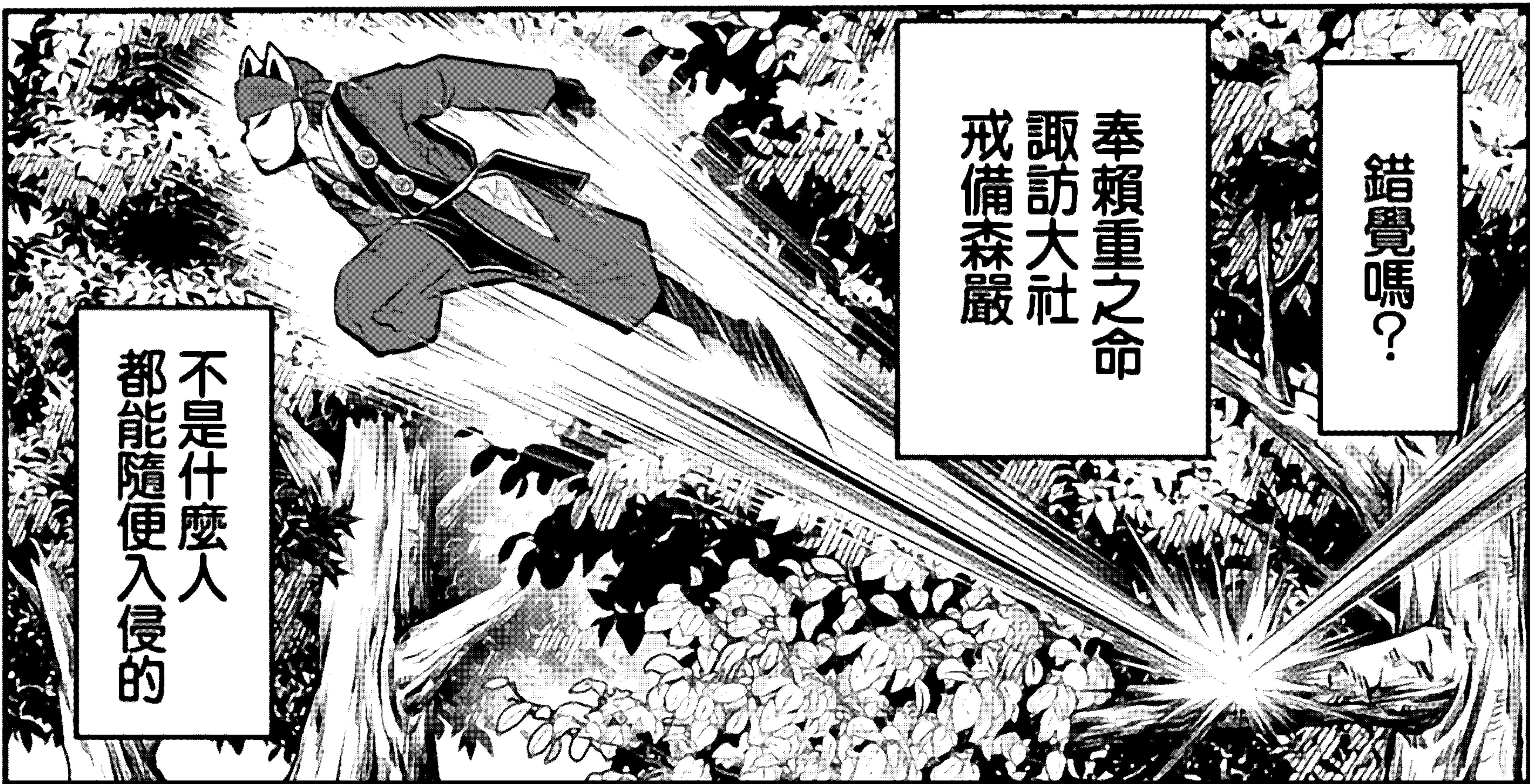
：什麼東西



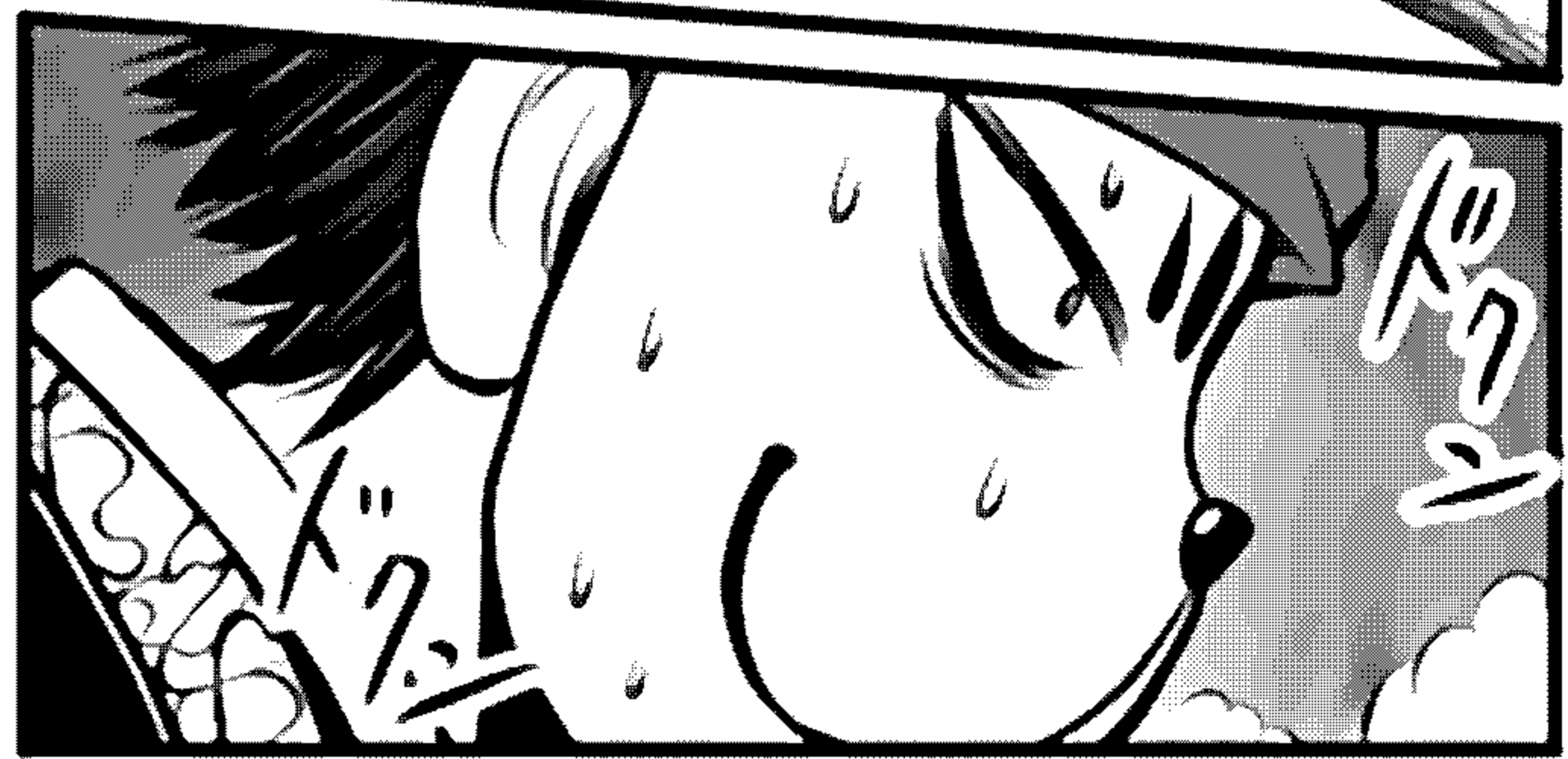
錯覺嗎？

奉賴重之命  
諏訪大社  
戒備森嚴

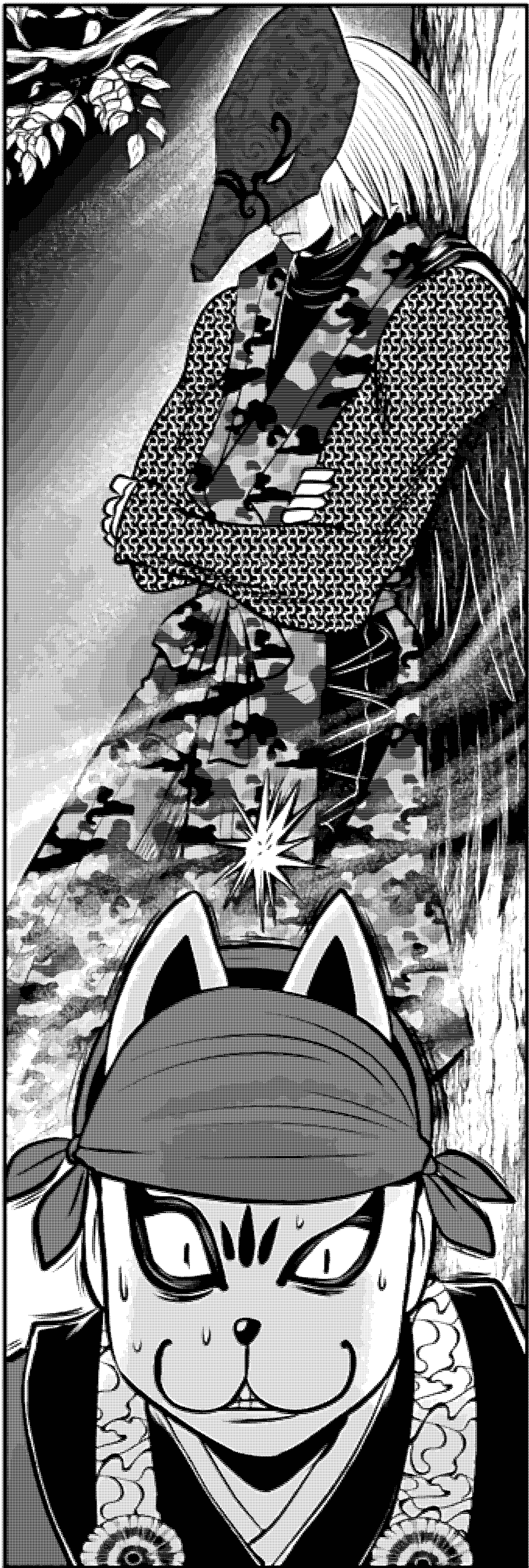
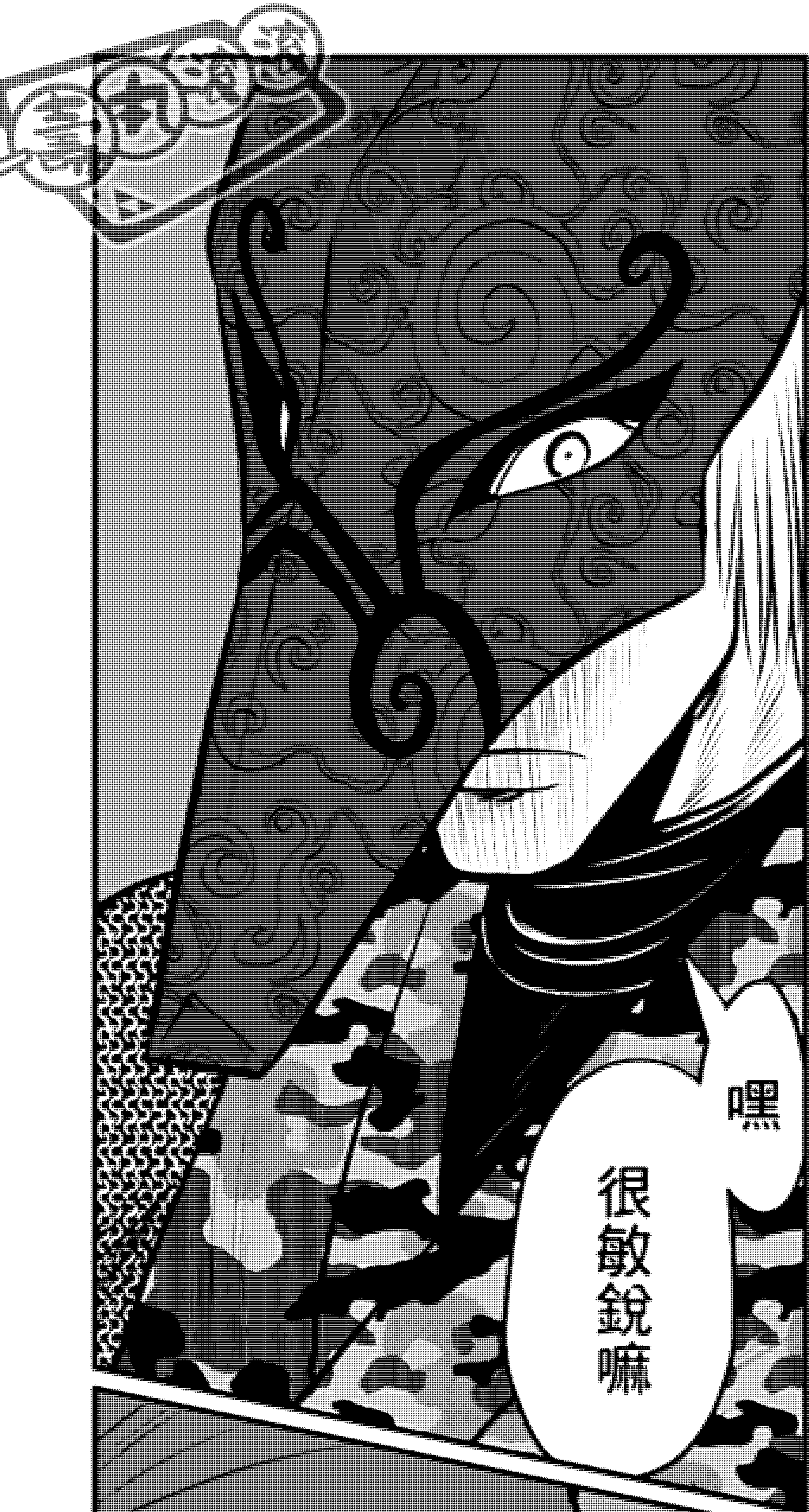
不是什麼人  
都能隨便入侵的















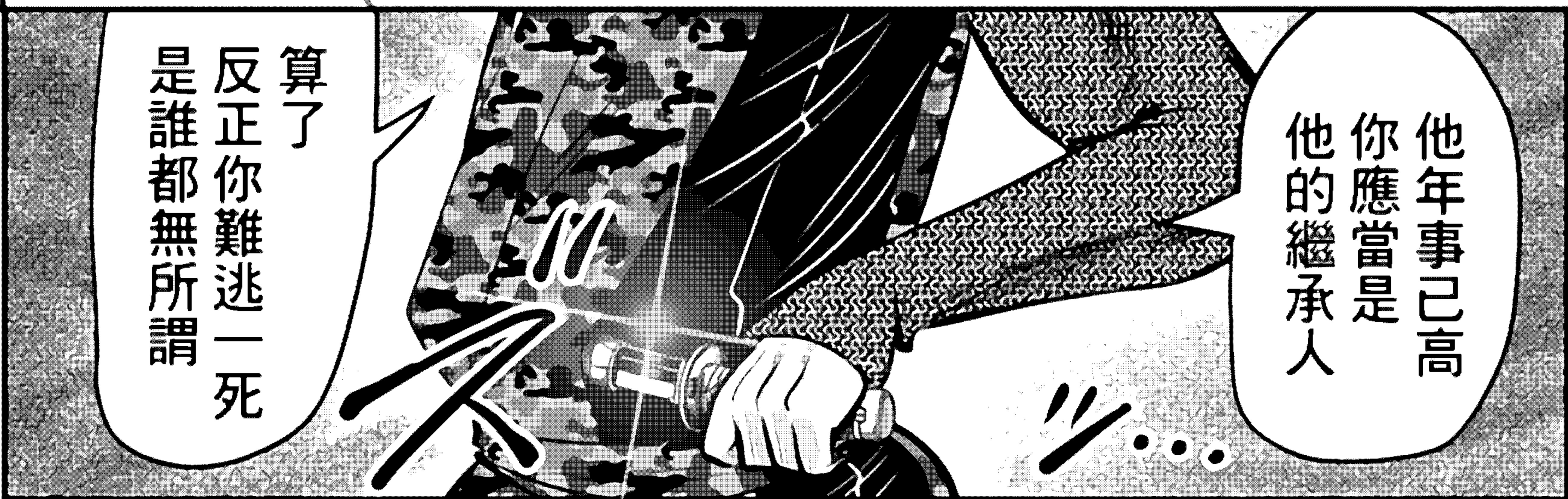
勉強也  
算個忍者吧



是情報裡提到的  
信濃狐面

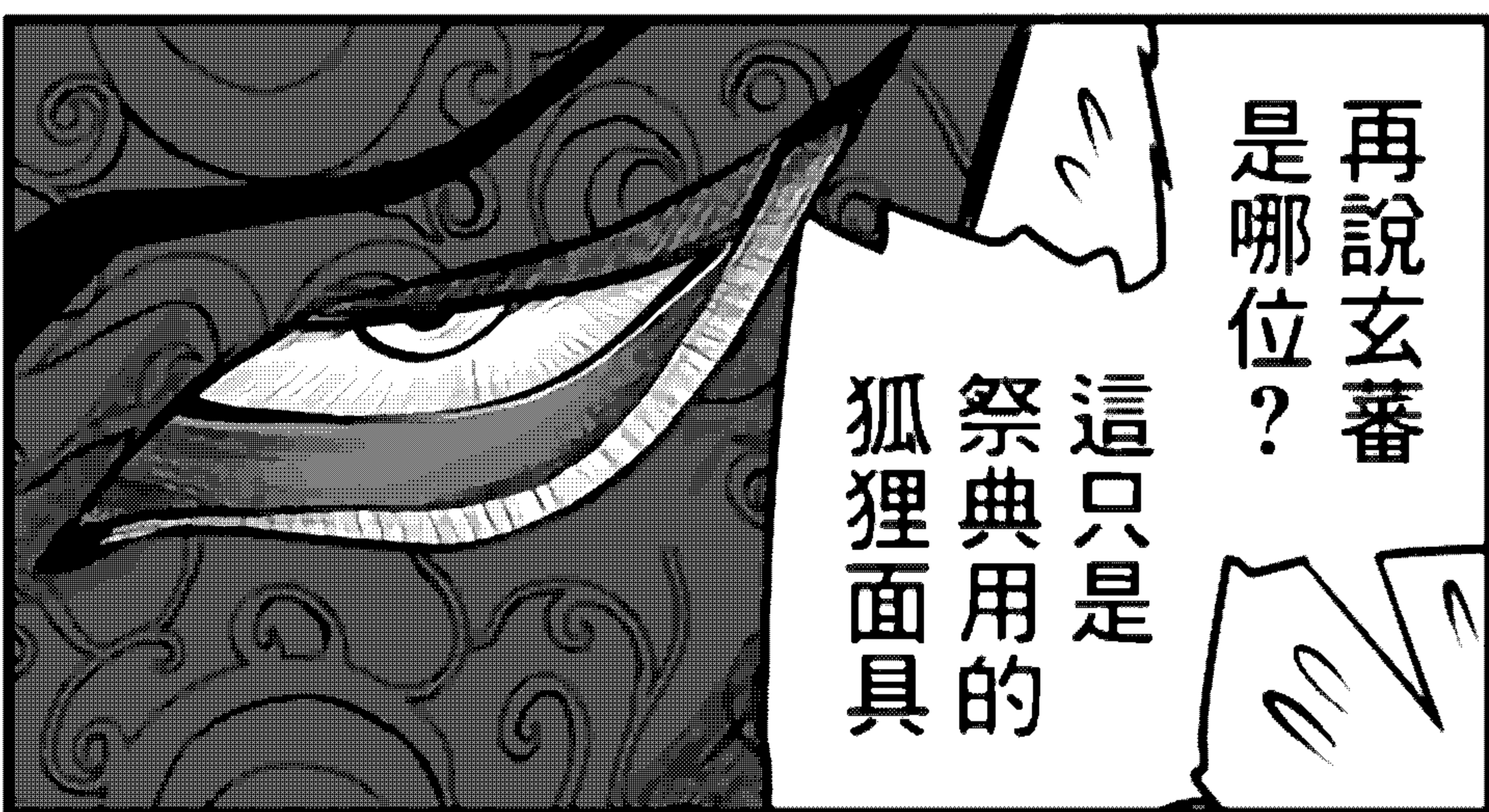
風間玄蕃啊

合佳佳合



他年事已高  
你應當是  
他的繼承人

算了  
反正你難逃一死  
是誰都無所謂



再說玄蕃  
是哪位？

這只是  
祭典用的  
狐狸面具



慢  
慢著慢著！

冷靜點  
我可是  
赤手空拳啊！



喏  
看仔細了





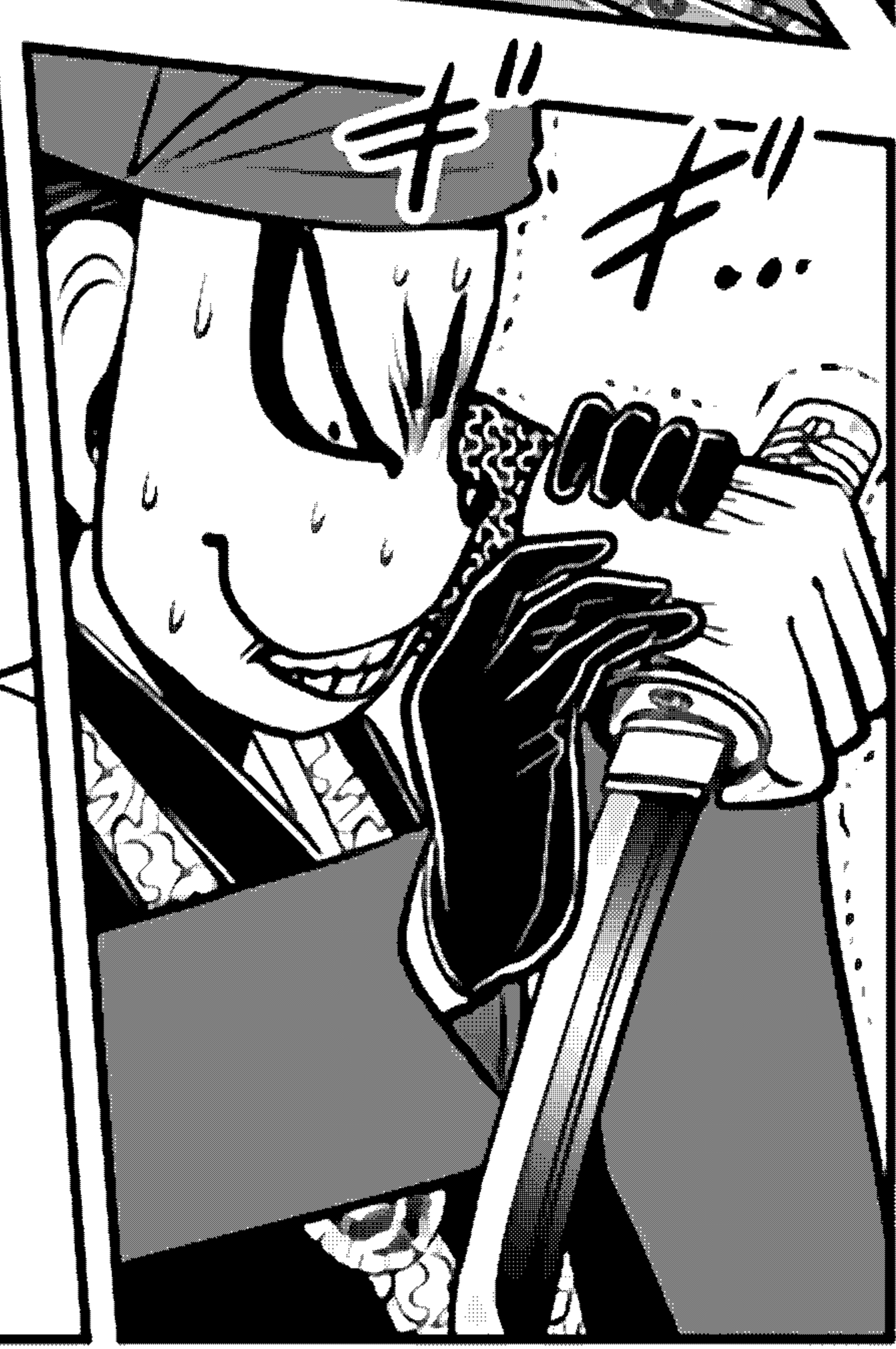




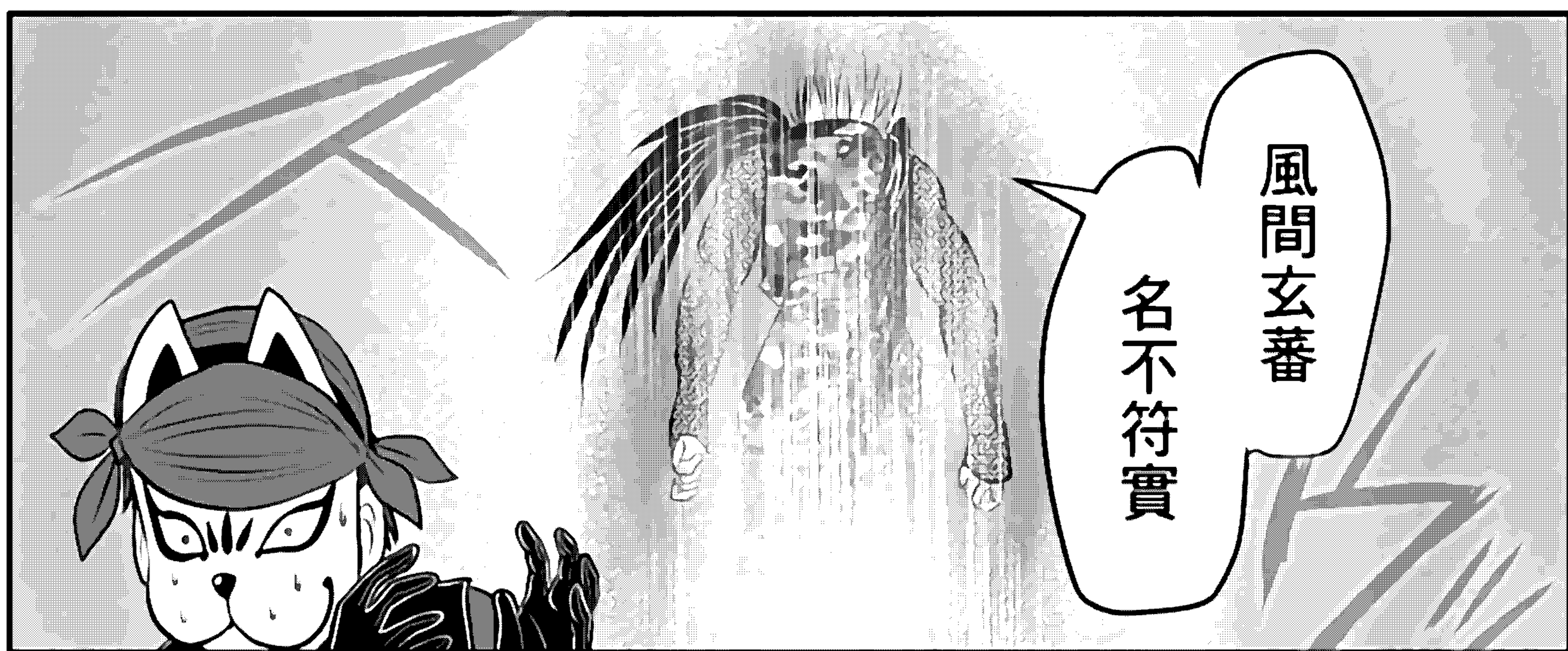




憑你這副德行  
想守護主君  
簡直天方夜譚







風間玄蕃  
名不符實



那傢伙是……

玄蕃！



混蛋……

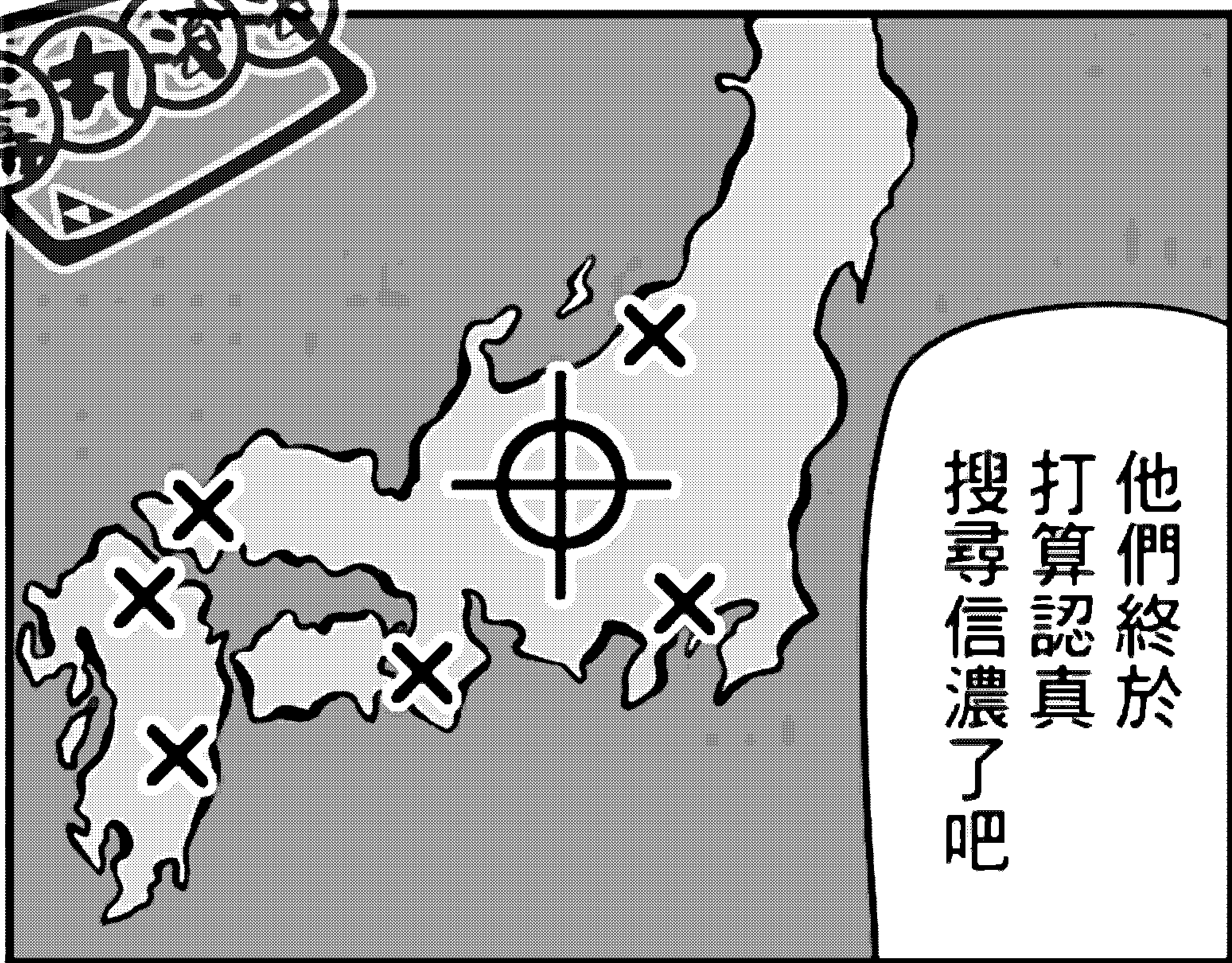
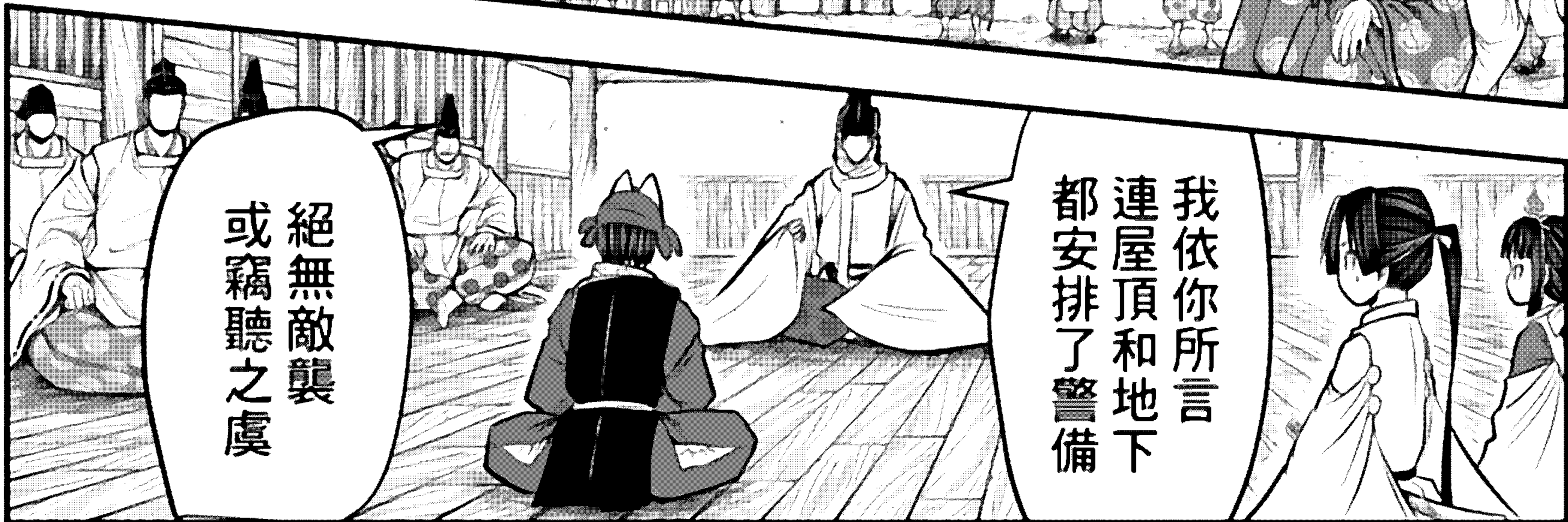
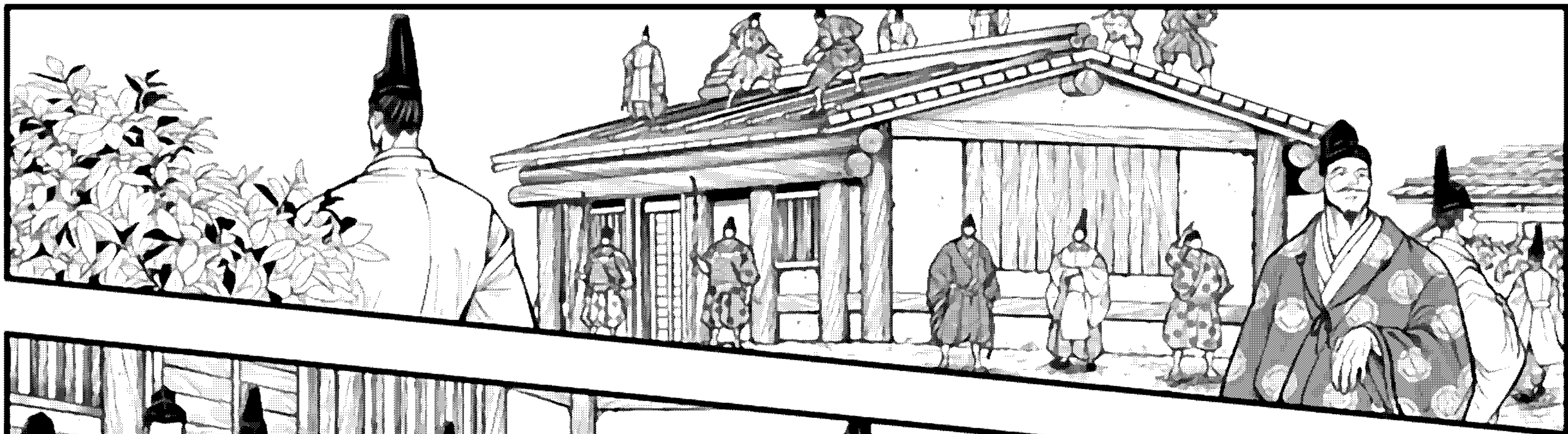
說我的招數  
是兒戲？



……  
我有話  
對賴重說

事態可能  
相當嚴峻







我曾聽老爹  
說起過

足利的  
直屬忍者集團  
「天狗眾」

靠神速體術  
和潛入技術

沒有他們  
揭不開的秘密

這已經  
不只是大戰了

若他們抓住  
動亂的證據……

查明  
少爺的真身  
一切就全完了

★足利的惡爪終於逼近!!  
次號封面&卷頭彩頁  
展露驚人的逃跑之策!!

少主溜得快

第47話  
本話完



# 解説上手の若君

鎌倉武士に文字の読み書きは広まっていたのか解説します。

**解説 本郷和人**

1960年、亀有生まれ。歴史の研究者である東京大学史料編纂所の教授。おっちゃんといわれてテレビや雑誌にも出演する。

## 当時の武士の書き言葉について



当時の武士は文字が書けたの？

三重県四日市にある善教寺の仏像の中から、鎌倉時代中期の藤原実重という武士が書いたノートが見つかりました。筑後守という官職を有していましたから、武士としてはとても立派な立場。それでノートの中味なのですが、仏に対してどういう行いをしたかといった、信仰のあり方がしたためられていました。

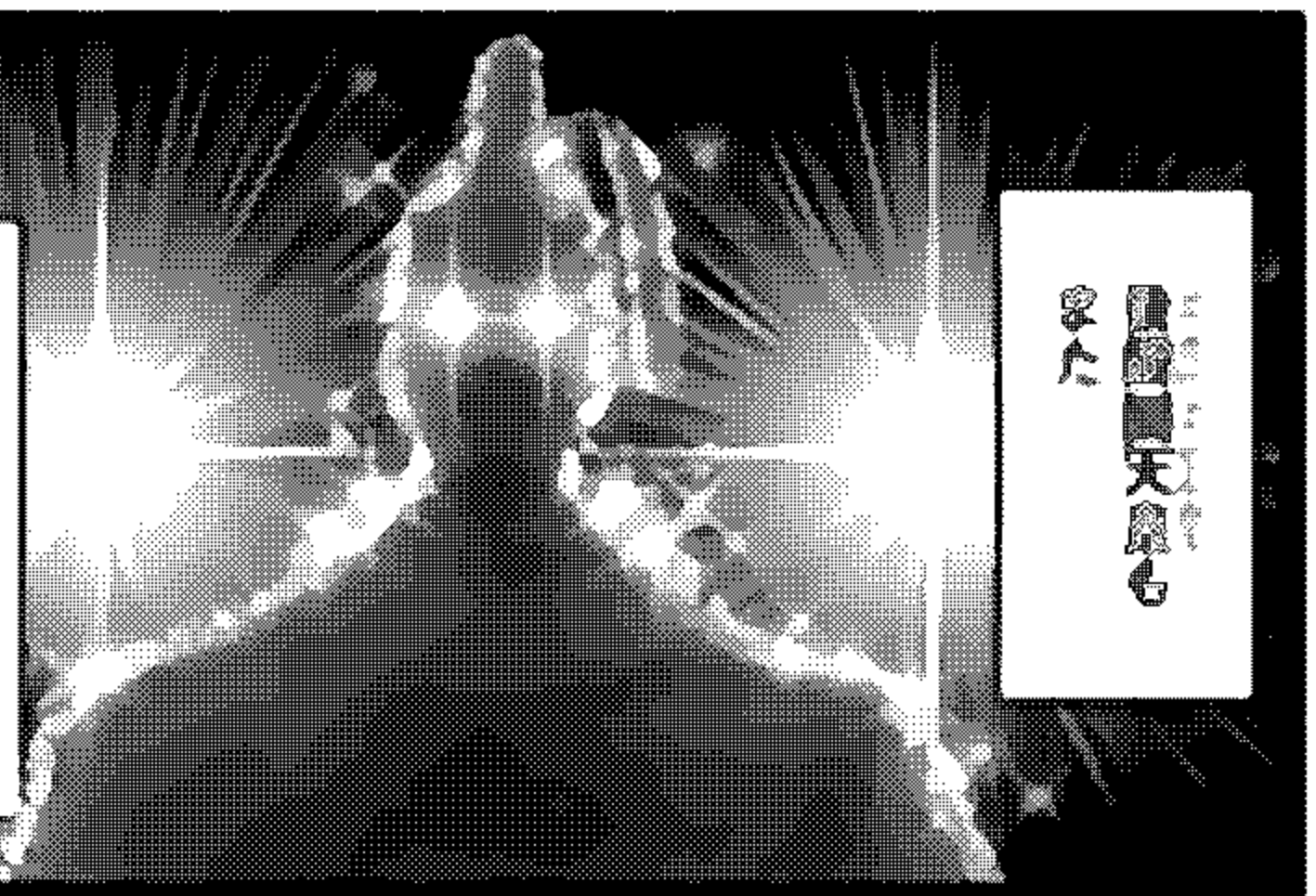


貴方が解説を読んで博識になっっているのは

全て僕の思うがままですよ！

すわよりつく 諏訪頼継

↓戦いは朝廷側が敗北し、院政の力が弱まっていく。やがて、後醍醐天皇によって院政は排され、幕府も滅亡したことで天皇が直接政治の実権を握る。



比喩な言葉とカリスマを備えた英雄だった

後醍醐天皇も受けた

### 承久の乱

鎌倉時代に起きた朝廷と幕府の戦い。後鳥羽上皇が厚遇していた当時の将軍・源実朝が暗殺されたことで朝廷と幕府の関係は不安定になる。ついには後鳥羽上皇が幕府執権・北条義時を討つ院宣を出して、始まった。

### 院宣

皇位を譲った天皇を上皇と称し、平安時代末期から鎌倉時代前期にかけて上皇が政治の実権を握っていた。この政治形態を「院政」と呼び、上皇の命令を伝える文書が「院宣」であり、政治への影響力も大きかった。

↓時行が生きている時代では、すでに院宣はなくなっている。代わりに天皇の命令を伝えるための文書は「輪旨」が主なものとして出されていたよう。



帝からの輪旨が届いたぞ！

待たせたな諏訪の衆！

問題は用いられていた字なのです。漢字は「大」や「田」とかの簡単なものばかり。あとはたどたどしい仮名文字でした。1221年の承久の乱のとき、北条泰時という人物が五千人の兵を率いて京都の町に入りました。すると、後鳥羽上皇が「院宣」という命令書を出して「乱暴をしないように」と呼びかけ、院の使者が泰時に「院宣」を渡す。泰時は「誰が読める者はいるか？」と五千人の部下に呼びかけた。そうしたら、手を挙げたのは、なんとひとりだけだったそうです。

こうしたことを参考にすると、鎌倉時代の武士は漢字を読むのも書くのも苦手だったんじゃないかな、と私は思っています。



# 卷末語

我決定遭遇熊時  
唱「HOWEVER」。  
靠最後那句  
「無法宣之於口」決勝。

順位15 / 21  
WJ2022 NO.8

## 第47話

少主溜得快

翻譯

我不做人了

校對

古々谷殘丘

嵌字

澤澤  
樹懶

監製

三十二

壽丸滾滾漢化

首發微傳

@混成連合會

歡迎加入漢化

測試群

648466051